

過ごしやすい季節になってきました

2学期がスタートし早くも1か月ほどが過ぎました。世間では、「GO TO キャンペーン」と称して、さまざまな取り組みが始まっています。まだまだ、これまでの日常生活には戻れていませんが、本校でも、できることを少しずつ前に進めていきたいと考えています。

日帰り体験学習（6年生）

9月24日（木）6年生が「日帰り体験旅行」として琵琶湖にある休暇村近江八幡に行ってきました。週末に発生した台風が木曜日に来るかもしれないと少し心配でしたが、台風も日本列島の東側にそれ、当日は、過ごしやすい気候のもと実施することができました。

子どもたちは、午前中①カタマラン体験と②ウォークラリー＆浜遊びで楽しみました。みなさんは、「カタマラン」って知っていますか？カタマランとは、双胴船のことで、安定性とスピードを兼ね備えたボートのことです。1チーム8人で力を合わせて一生懸命こぎながら琵琶湖での体験を満喫していました。活動後インストラクターの方からは、「島田小学校の6年生の人たちは、『助け合い』の姿があらこちらで見られ『やさしい気持ち』がよく伝わってきましたよ。」と報告していただきました。さすが6年生！最高学年として、これからも島田小学校を引っ張って行ってください。

ウォークラリーでは、難しい地図を読み解きながらチェックポイントを回ってクイズに答えていきました。また昼食は、バーベキューでお肉をたくさんいただきました。最後の焼きそばもおいしかったですね。



↑ これが「カタマラン」です。

運動会について

9月25日付けで配布させていただきました通り、10月24日（土）に運動会を実施いたします。これまでの運動会とは異なり、密を避けるために低・中・高に分かれての開催とさせていただきます。子どもたちは、出場時間帯に合わせての登校となり、終わり次第下校となりますので、ご注意ください。

【登校時間帯】

・低学年（8:30 までに登校） ・中学年（9:30～9:45） ・高学年（10:30～10:45）

となります。今年度は、団体演技はありません。走競技と団体競技のみになります。限られた時間ではありますが、子どもたちの勇姿を身近なところからみていただき応援していただければと思っています。また追加のお知らせにつきましては、学校配布のプリント、学年だより、メール等でお知らせいたします。

短縮授業について

10月19日（月）～23日（金）の5日間、4時間の短縮授業（給食あり 13:45下校）とさせていただきます。今年度「かがやき（通知表）」が、10月と3月に配布することになり、それに伴う事務日として上記期間を設定させていただきます。別途3月にも設定させていただく予定です。

一方、例年設定されています学期末の短縮授業については実施いたしません。合わせて、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

作品展の実施と個人懇談について

例年、実施しています学習発表会につきましては、教育委員会からの指針にもとづき校内で検討した結果、実施困難と判断いたしました。つきましては、そのかわりとして「作品展」を行うことにします。実施期間は、2学期の個人懇談期間（12月8日（火）～11日（金）の予定）を考えています。詳細が決まり次第、お知らせいたします。

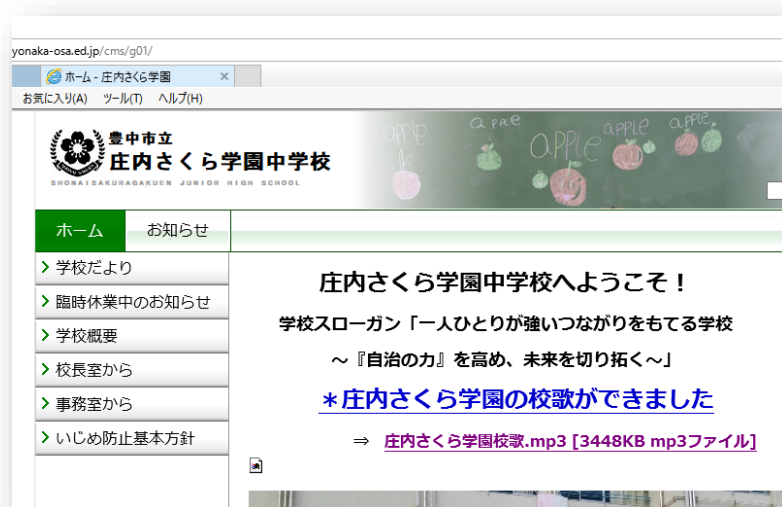
（仮称）庄内さくら学園校歌 完成！

令和5年（2023年）春に開校される義務教育学校「（仮称）庄内さくら学園」の校歌が完成しました。作詞・作曲したのは、昨年のジュネーブ国際音楽コンクール作曲部門で優勝した大阪音楽大学講師の高木日向子さんです。高木さんの話によると、「未来を切りひらく子どもたちを応援したい」との気持ちと、「統合でなくなる学校も、ずっと記憶に残したい」という願いを込めてくださったようです。

校歌は3番まであり「四季の流れで変化する桜の様子と、子どもの成長が重なるようにしました」とのことです。

＊新聞記事から

本校にいるみなさんは、令和5年度、庄内さくら学園に在籍します。さくら学園中学校のホームページから校歌を聴くこともできます。ぜひ一度ご視聴ください。



↑ 庄内さくら学園中 ホームページ

それぞれの「校歌」の歌詞への思い、感じていただけましたか？



学校探訪 「島田小学校 校歌」

庄内さくら学園の校歌のお披露目がありました。ふと考えてみると、島田小学校の校歌は、どのような思いで誕生したのでしょうか？

創立五十周年記念誌に、作曲をしていただいた岩崎欽一先生のお話が載っていましたので、ご紹介します。

「校歌誕生に寄せて」 岩崎欽一

昭和40年6月中旬のさわやかな日曜日の朝、奥野昌治先生がわざわざ我が家にお見えになった。榎原實校長も了解されたので、急ぎ校歌を作曲してほしいとの正式な依頼であった。7月10日までの短い期限に戸惑いもあったが、大変光栄なことでもあり、その場で快諾した。

実は前任校で、長崎県福島町の町制10周年記念行事の一環として福島音頭を作曲し、長崎県知事の前で、その音頭を全校生で踊り披露したこともあり、作曲する楽しさを体験していた。

奥野先生から教育目標や先生方の思いについても伺いして、校歌の内容が児童の成長をしっかりと願った詩になっていることが実感できた。くり返し、くり返し詩を読みながら、一気に作曲したことが思い出される。特に一番の「のぼるのぼる」二番の「光る光る」三番の「かけるかける」は低学年のあどけない児童の顔を思い出しながら、後半の「清く明るくたくましく」は高学年のちょっぴりわんぱくな児童の顔を思い描きながら一気に作曲した。

このすばらしい校歌が歌い継がれ、共にはげまし合い、支え合い生かし合う大人になってほしいと願っている。（創立五十周年記念誌 島田 より）

庄内さくら学園 校歌

作詞・作曲 高木 日向子

一	二	三
空のまぶしさ 気づく頃	風の行き先 気づく頃	雲のやさしさ 気づく頃
うす紅の花が 若葉になる	枝の青葉に 色がにじむ	枝のつぼみが 花開く
時間と共に 移りゆく	それぞれ違うから 美しい	急がなくていい 少しずつ
その希望 その未来	その思い その気持ち	その道 その夢
創ろう 君と一緒に	見つけよう 君と一緒に	ひら 拓こう 君と一緒に
※五つの花が 重なって	※ くり返し	※ くり返し
一つになる		
庄内さくら学園		

豊中市立島田小学校 校歌

作詞 奥野昌治 作曲 岩崎欽一

一	二	三
のぼる のぼる 陽の光	光る 光る 玉のつゆ	かける かける 雲の果て
うすまぐ血しお 燃える意気	心豊かに 美しく	しっかりと立って 仰ぎ見る
高い希望に 手をつなぎ	小さな生命 みがきあい	文化と平和の 園めざし
緑の山に よびかける	まことの道を きわめゆく	世界の友と 手をつなぐ
清く 明るく たくましく	清く 明るく たくましく	清く 明るく たくましく
はげむ われら 島田校	のびる われら 島田校	つくす われら 島田校